

記入年月日: 令和5年8月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		国の設置基準を満たしております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		人員が十分な確保ができるように配慮していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		毎日の清掃、消毒を行い、清潔な環境に気を付けています。24時間換気システムを行っているほか、冬場は加湿器を設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		会議に参加できなかった職員にも周知していくように徹底しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		ご利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、以降を把握し改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		令和4年度よりホームページ上で公表するとともに、令和5年度からは連絡帳アプリにも電子交付を行っていきます。ご要望があれば紙面でのお渡しも実施します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は保護者の方の評価と社内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施も検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間計画を立て、内外部の研修参加をしております。職員それぞれの専門性を研鑽を推奨しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画(個別支援計画)に沿った支援を行っております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		課題内容やお子さんの状況に応じて繰り返し行っていることはありますが、楽しみながら続けていけるよう工夫を行っております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		一人ひとりの発達に応じ、集団適用・社会性の視点を持ちながら児童発達支援計画(個別支援計画)の作成に当たっています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ミーティングを行いプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動終了後もミーティングを行い、子どもの様子や支援の振り返りを行い記録します。それらを次回の活動のステップアップや改善につなげています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	6か月に1度、見直しを行っています。
----	--	---	--------------------

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	開催される場合には、適任者を選び出席します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	必要に応じて幼稚園、保育所との連携を図れる体制を整えております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		対象児なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		対象児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	移行先や保護者の要望に応じて情報提供を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	必要に応じて助言を受けています。今後は講習会や研修会の機会を設けていきたいと考えております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	事業所として交流活動等の実績はありませんが、保護者のご希望があれば通園先との連携などを行っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	障害福祉サービス事業者連絡会に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	定期的面談や送迎時、必要に応じて電話等で様子を伝え、ご家庭での様子の情報交換や共有をさせていただいております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	今後行っていけるようにしていきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	ご契約時や面談時に説明しております。また不明な点は随時職員が説明させていただきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	今後はわかりやすく説明に努めてまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	希望に応じて相談を受け付けています。また敵的なモニタリング時に相談の時間も設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	開所翌年より感染対策もあり、保護者間の交流などはごさいませんでした。今後は検討してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	必要に応じて連絡事項等の情報をおたよりやルクミーにて発信しています。まだまだ情報提供の不足を感じておりますので今後は今以上に発信し、周知いただけるように努めてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	その日に取り組む教材が視覚的に分かりやすくなるよう配置するなど、伝わる方法をお子さんや保護者に合わせるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	行っていません。今後は取り組んでいけるように考えてまいります。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	マニュアルについて職員会議にて対応方法の確認を行っております。今後は保護者の方にも周知していただけるよう努め、訓練に関しましても日々改善に努めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	活動時間中の避難訓練、メール配信システムを使用した連絡訓練を定期で実施しております。今後も継続的に訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	保護者記入による健康状況票により把握をしております。また必要に応じて聞き取りも行っています。児童の健康上の配慮や注意点について、職員全員が意識できるように定期的な確認・周知を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	食事、おやつ等の配食や活動(小麦粉粘土等)には注意しております。必要に応じて、服薬・投薬の取り決めを保護者と行います。今後は緊急搬送先など、定期的な確認を行っていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	危険な事例があった場合、特定の報告書に記載しミーティングを通して職員で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	事業所内での研修を行っていますが、外部研修には参加できていません。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録を残すこととしています。現在対象児童はいませんが、いる場合には組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。